

高知県立大学：軽症者受け入れガイドライン

2017年10月27日版

2017年10月27日版	0
1. 事前準備、災害発生時の活動に関する計画の作成	1
2. 県立大学における対応手順	1
1) 学内状況の調査と指揮命令系統の確立	1
2) 学内状況の集約と報告	1
3) 受け入れができないと判断した場合	1
3. 傷病者の受け入れ準備	2
4. 傷病者受け入れの動線	2
5. 救護所の運営	3
1) 設置場所	3
2) 担当者	4
3) 用意する物品	4
4) 活動の概要	6
5. 本学で対応が困難な傷病者の搬送	8
6. 看取り室への搬送	8
7. 問い合わせへの対応	9
1) 問い合わせ窓口の設置	9
2) 医療救護対象者の親族への対応	9
8. 軽症者の受け入れのフロー図とトリアージタグおよび診療録	10
1) 軽症者の受け入れ・搬出の流れ	10
2) トリアージ区分変更とタグ	11
3) トリアージタグ	12

本マニュアルは、下記の方針により作成した。

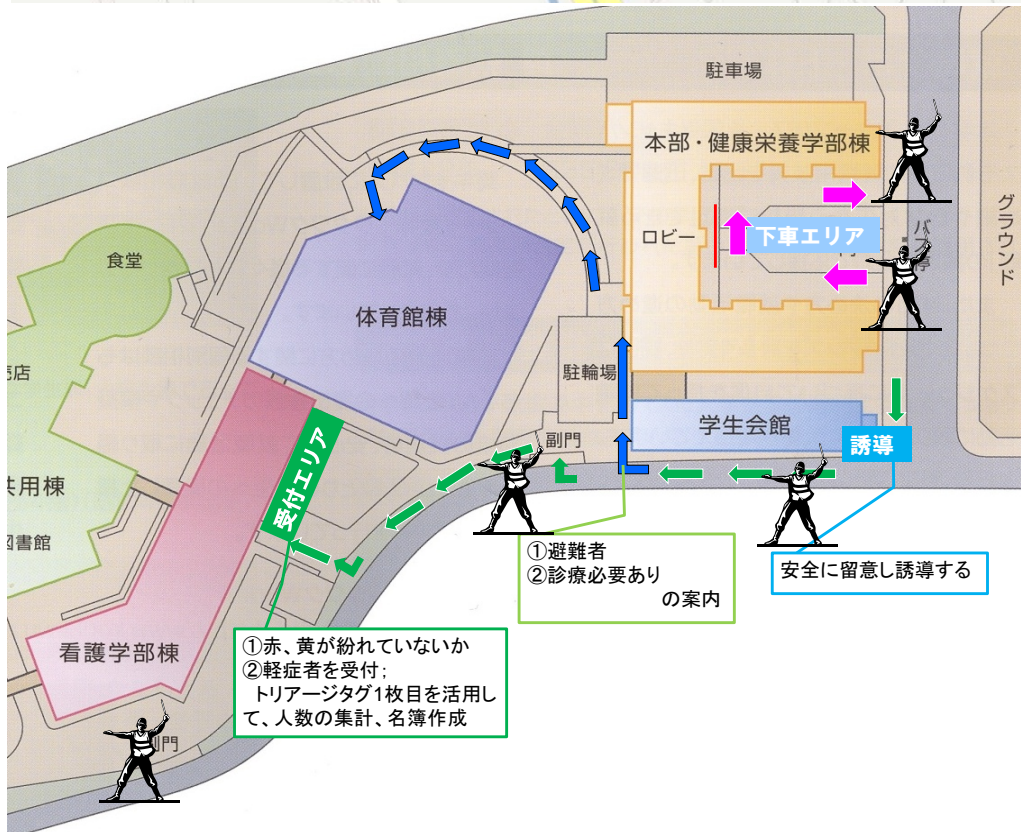
- ・高知医療センターが基幹災害拠点病院としての機能を果たせるように、医療センターに来院した軽症者と避難者を高知県立大学（避難所）が受け入れる。また、災害発生時に医療センター内にいる帰宅困難者（外来患者、面会者、業者等）のうち、医療センターから受け入れ要請のあったものを避難所で収容する。
- ・高知県災害救護計画に基づき作成
- ・救護所では、トリアージタグを原則的にカルテとして使用する
- ・軽傷者エリア外に搬出が必要になった患者には、別途診療録を作成する。

- ・火災・津波・崖崩れといった二次災害が発生する恐れのある場合は、直ちに学生の避難誘導を行い、教職員も早急に避難する。

3. 傷病者の受け入れ準備

- 1) 予め定めてある計画に沿って、参集した教職員の役割分担を行い、人員を配置する。
- 2) 計画に沿って、受付、軽症者診療、軽症者等経過観察エリアの配置を行い、可能であれば見取り図を作成し関係者に周知する。
- 3) 医療救護活動に必要な支援については、医療従事者は共通様式4、重症患者等の受入要請は共通様式5、物資等の供給要請は共通様式6により、医療センター災害対策本部、県医療本部に要請する。

4. 傷病者受け入れの動線



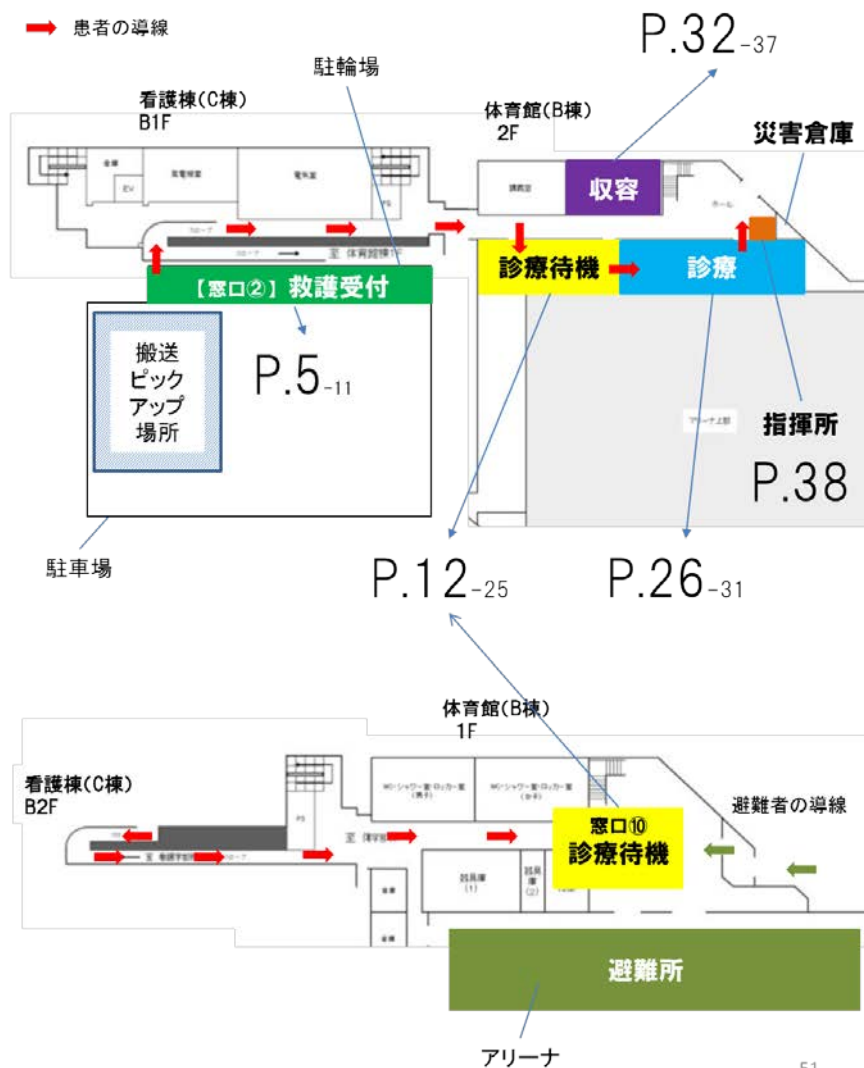
5. 救護所の運営

1) 設置場所

- ① **救護受付**：看護学部地下自転車置き場で、避難者の氏名確認と黄色タグの患者がいないか確認する。(一次チェック：透析患者、妊婦など) 受付後、トリアージタグの1枚目をホワイトボードに貼り、患者リストを作成する。
- ② **診療待機**：受傷状況の確認と受傷部位の確認、必要に応じてバイタルサインのチェックを2人1組で行う。医師による診察が必要な人は診察室へ、洗浄、包帯などの処置のみでよい人は処置室へ誘導する。
- ③ **診療**：体育館会議室で医師による診察室を設営する。処置は処置室へ
- ④ **処置室**：処置ができるように包交車などを配置
- ⑤ **収容(要経過観察者)**：体育館2階西側スペース、
- ⑥ **待合スペース**：調剤を待つ傷病者
- ⑦ **調剤・薬渡し**：医師の処方箋を、トリアージタグで確認して調剤。トリアージタグで患者を確認して薬を手渡す。トリアージタグ2枚目を回収する。

下図のページ番号は、詳細マニュアルのもの。

【救護所】全体図



2) 担当者

- ・ 診療には、医療センターの医療チームが派遣されるので、協働して軽症者の診療と収容にあたる。
- ・ 各エリアの本学スタッフの配置人数

各エリア毎に誘導者 2 名

エリア名	役割	人数	備考
救護受付	受付/情報集約	2	
	一次チェック	4	透析患者、妊婦など
軽症者待機エリア	二次トリアージと受傷起点確認	8	
診療	診察介助、処置の実施、介助	6	
収容	経過観察、搬送が必要な傷病者の安定化	5	待機エリアと連携

3) 用意する物品

救護受付物品リスト

物品名	数量	保管場所	物品名	数量	保管場所
トランシーバー	3	災害対策本部	トリアージタッグ	1000	体育館倉庫
拡声器	4		滅菌カーゼ4つ折5枚入り	5	体育館倉庫
折りたたみテーブル	8	体育館会議室	滅菌カーゼ8つ折5枚入り	5	体育館倉庫
椅子	20	体育館中講	三角布	3	体育館倉庫
ストレッチャー	3	C112	ディスポ手袋 (L)	2箱	体育館倉庫
車椅子	5	C112	ディスポ手袋 (M)	2箱	体育館倉庫
体温計	5	C112	ディスポ手袋 (S)	2箱	体育館倉庫
ペンライト	5	C112	速乾式手指消毒剤	2本	体育館倉庫
ステート	3本	C112	エタクロス	3個	体育館倉庫
血圧計	3台	C112	ゴミ袋 70L	20枚	体育館倉庫
パルスオキシメーター	3台	C112	ゴミ袋 45L	30枚	体育館倉庫
担架	2	C111	ゴミ袋 20L	30枚	体育館倉庫
松葉杖	3	C111	ビニール袋 (180×250mm)	100枚	体育館倉庫
毛布	20	C111	ビニール袋 (250×350mm)	100枚	体育館倉庫
医療ごみ箱 (ダンボール)	4	C111	文具一式		体育館倉庫
ホワイトボード	1	C110	ボールペン黒	10	
投光器		未整備	マジック黒、赤	各3	
発電機		未整備	ホッチキス	3	
ロープ			ホッチキス針	2箱	
テント			セロテープ	2	
ブルーシート			はさみ	5	
			コピー用紙	1	

軽症者診療物品リスト

物品名	数量	保管場所	物品名	数量	保管場所
折りたたみ机	3	体育館会議室	災害ベッド	3	体育館倉庫
椅子	3	体育館会議室	医療資器材カート		
折りたたみ椅子	12	体育館中講室	プレスネット4-6号	各1箱	体育館倉庫
照明器具	4	未整備	ソフトシーネ小	20	体育館倉庫
救急カート	1台	C109	ソフトシーネ中	20	体育館倉庫
DC	1台	C109	ソフトシーネ大	20	体育館倉庫
トランシーバー	1台	C110	ネックカラー (M、L)	各2	体育館倉庫
包交車	2	C110	ネックカラー (S、LL)	各1	体育館倉庫
ベッドサイドモニター	2台	C110	バストバンド (M、L)	各2	体育館倉庫
12誘導心電計	1台	C110	バストバンド (S、LL)	各1	体育館倉庫
キープポア 2.5cm	1箱	C110	滅菌ガーゼ4つ折5枚入り	30P	体育館倉庫
ハイラテックス 5cm	1箱	C110	滅菌ガーゼ8つ折5枚入り	30P	体育館倉庫
酸素ボンベ	5本	C111	滅菌ガーゼ16折1枚入り	50P	体育館倉庫
輸液セット 大人用	2箱	C111	滅菌アルコール綿	2箱	体育館倉庫
注射針 18G	3箱	C111	スワブスティック (S、M)	各1箱	体育館倉庫
注射針 23G	2箱	C111	滅菌綿棒5本入り	50袋	体育館倉庫
留置針 22G・20G	各1箱	C111	ディスポセッシ	20	体育館倉庫
駆血帯	5	C111	伸縮包帯 7.5cm巾	10	体育館倉庫
セッシ立て	10	C111	伸縮包帯 9cm巾	20	体育館倉庫
イソジン液	10	C111	三角布	12	体育館倉庫
ハイポアルコール	2	C111	ディスポ膿盆	30	体育館倉庫
マスク液	2	C111	エマーゼンシーシート	5	体育館倉庫
洗浄生食 500ml	50	C111	看板 (入口、出口、救護所)	3	体育館倉庫
松葉杖	3	C111	看板 (臨時薬局)	1	体育館倉庫
毛布	20	C111	ディスポ手袋 (L)	2箱	体育館倉庫
医療ごみ箱 (ダンボール)	4	C111	ディスポ手袋 (M)	2箱	体育館倉庫
ペンライト	5	C112	ディスポ手袋 (S)	2箱	体育館倉庫
体温計	5	C112	速乾式手指消毒剤	2本	体育館倉庫
車椅子	2	C112	エタクロス	3個	体育館倉庫
処置用ワゴン	3	C112	ゴミ袋 70L	20枚	体育館倉庫
点滴台	3本	C112	ゴミ袋 45L	40枚	体育館倉庫
ステート	3本	C112	ゴミ袋 20L	30枚	体育館倉庫
血圧計	3台	C112	ビニール袋 (180×250mm)	100枚	体育館倉庫
サチュレーションモニター	3台	C112	ビニール袋 (250×350mm)	100枚	体育館倉庫
ついたて	12	C112	はさみ	5	体育館倉庫
ペール缶	4	C110-112	文具一式		体育館倉庫
ロープ	1		ボールペン黒	5	
			マジック黒中、赤中	各2	

軽症者待機エリア & 収容エリア物品リスト

物品名	数量	保管場所	物品名	数量	保管場所
折りたたみ机	3	体育館会議室	ディスポ手袋 (L)	2箱	体育館倉庫
椅子	3	体育館会議室	ディスポ手袋 (M)	2箱	体育館倉庫
折りたたみ椅子	10	体育館講義室	ディスポ手袋 (S)	1箱	体育館倉庫
トランシーバー	1台	C110	速乾式手指消毒剤	2本	体育館倉庫
包交車	1台	C110	エタクロス	2個	体育館倉庫
毛布	20	C111	ゴミ袋 70L	20枚	体育館倉庫
医療ごみ箱(ダンボール)	4	C111	ゴミ袋 45L	30枚	体育館倉庫
ペンライト	5	C112	ゴミ袋 20L	30枚	体育館倉庫
血圧計	3	C112	ビニール袋 (180×250mm)	100枚	体育館倉庫
ステート	3	C112	ビニール袋 (250×350mm)	100枚	体育館倉庫
パルスオキシメーター	3	C112	文具一式		体育館倉庫
体温計	5	C112	ボールペン黒	5	体育館倉庫
ついたて	2	C112	マジック黒、赤	各2	
災害ベッド	10	体育館倉庫	ホッチキス	1	
看板	3	体育館倉庫	ホッチキス針	2箱	
滅菌ガーゼ4つ折5枚入り	5	体育館倉庫	セロテープ	1	
滅菌ガーゼ16折1枚入り	20	体育館倉庫	はさみ	1	
ディスポ膿盆	5	体育館倉庫	ボックス	2	
サージカルマスク	100枚	体育館倉庫	コピー用紙	1冊	

4) 活動の概要

(1)実施した医療救護活動における次のことについて記録し、定期的に学内災害対策本部に報告する。

- ・本学に支援に入った医療救護チーム等の名簿
- ・本学で取り扱った傷病者数と名簿（疾病状況、搬送先を明記する）
- ・本学からの支援要請の内容、要請時刻、支援要請先、要請時刻
- ・本学からの支援要請に対する諾否、支援の内容、回答時刻等

(2) 医療センターからくる医療救護対象者はトリアージタグが付いているので、救護受付で1枚目をホワイトボードに貼り、そこから名簿を作成する。

(3) トリアージタグが付いていない場合は、トリアージを行い、受付番号(県大000)、医療救護対象者の住所、氏名、年齢、性別、搬送元、負傷場所等を確認し、トリアージタグを作成する。

(4) 救護受付では、一次チェックを行い、慢性疾患患者（透析患者）、妊婦など黄色患者がいないか確認する。

(5) 搬入時に既に死亡している者及び本学で死亡した者は、速やかに遺体安置ゾーンに移す。またトリアージの結果、蘇生の可能性がないと判断された者（死亡群）は、医療救護活動の支障のない場所に収容する。（F棟）

(6) 診療はトリアージの区分（赤：重症者 黄：中等症者 緑：軽症者）ごとに実施する。医療センターのトリアージポストを経て搬送されてくる医療救護対象者は、基本的に軽症者のみであるが、直接来学する医療救護対象者も含めて、緊急度の高い順に診療を実施する。

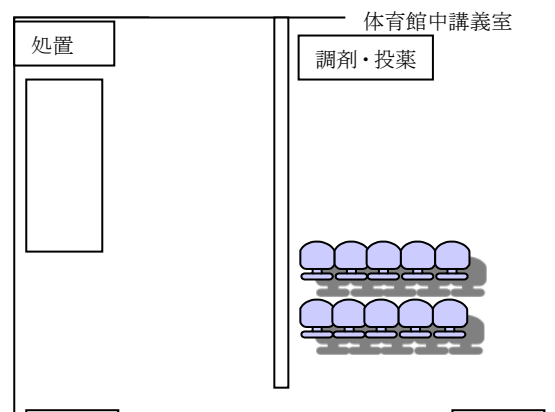
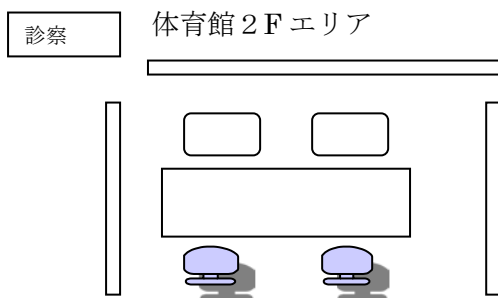
(7) 待機中に症状が悪化し待機的治療群から優先的治療群になる場合があるので、バイタ

ルサインや身体所見の変化に細心の注意を払う。

- (8) 本学で対応が困難な医療救護対象者については、医療センター災害対策本部に連絡し搬送車両を回してもらうか、状況によっては本学災害対策本部に連絡し対応を検討してもらう。

表. 救護所における救護活動計画

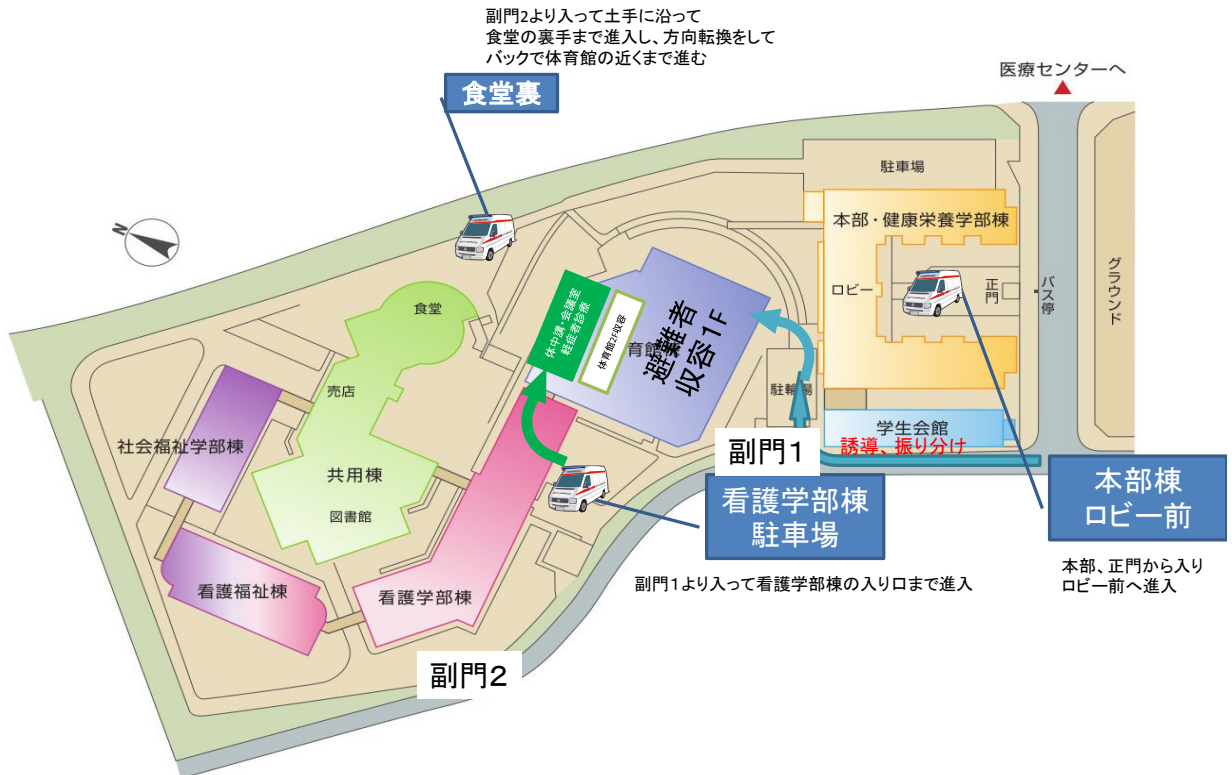
責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要物品の搬入指示 2. 医療センター担当者との連携 3. 職員・ボランティア・物品の調整 4. 必要物品のレイアウト・患者の流れの確認 5. 救護受付、軽症者待機&収容エリア、診察・診療の各責任者の決定 6. 本部への報告 7. 必要時応援要請
メンバー	<p><u>メンバー医師</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診察室の設置と確認 2. 緑タグ患者の診察、処置、処方等 3. トリアージタグの記入 4. 被災患者の緊急度変更の対応 <p><u>メンバー看護師</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要物品の搬入 2. 受付・診察室・処置室・待機エリア・収容エリアの準備設置 3. 診療・処置介助 4. 被災患者の緊急度の変更への対応 5. 不足物品を責任者へ報告 <p><u>薬剤師</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お薬コーナー設置・必要物品の搬入 2. 調剤・薬の説明と受け渡し 3. トリアージタグでカルテの代用とする <p><u>メンバー</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要物品の搬入、受付の設置・トリアージタグの準備 2. トリアージタグの配布・記載（本人に書かせてよい）、1枚目の保管 3. 看護師の指示による包帯など簡単な処置 4. 処置終了者へタグ2枚目を渡し帰路、避難所の案内 7. 帰宅するとき、または避難所に移動するときに、3枚目（厚紙）をカルテの代わりとして回収・保管する。台帳に移動先を記載する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ終了後ミーティングを行い、各役割を伝達 ・連絡事項は白板に記載 ・薬剤師：トリアージタグの2枚目を患者に渡し、3枚目（厚紙）をカルテの代わりとして回収・保管



5. 本学で対応が困難な傷病者の搬送

- 1) 原則として車で搬送し、可能であれば担架、車いす等で移送する。搬送方法の決定は、医療センター医師と調整し決定する。
- 2) 車で搬送する場合、車両の出入りが可能な場所を確認し、搬送口を決定する。
- 3) 搬送口は、①看護学部棟駐車場、②本部棟ロビー前とするが、状況に応じて③食堂裏等を選択する。
- 4) 搬送が必要な場合の医療センターへの連絡は、救護所統括者が集約し、医療センター現場指揮所にトランシーバーCH9、もしくは医療センター院内 PHS で連絡する。

高知県立大学構内地図 搬送ピックアップ地点



6. 看取り室への搬送

【遺体仮安置場所（看取り室）F棟1階】

- 1) 本学に搬入されたときに既に死亡している者及び本学で死亡した者は、学内の遺体仮安置場所に一旦安置し、所轄警察署にその旨を届け出る。
- 2) 遺体は、所轄警察署の指示に基づき、市町村の指定する遺体安置所に搬送する。
- 3) 遺体の検案等は、原則として、市町村が指定する遺体安置所において警察の指示により実施される。

区分	内 容
設置場所	看護福祉棟 1F
連絡先	(内線:)
構成要員	看護師 2 名、(診療と兼務 医師 1 名)
役割及び活動内容	医師 1. 被災患者死亡診断・死体検案書作成 2. 患者の家族への説明 看護師 1. 必要物品の設置 2. 患者情報を本部に報告 3. 患者の家族への対応 4. 身元不明患者は安否情報室へ情報提供、写真撮影依頼 5. 遺体安置所への搬送 6. 必要時応援の要請
備考	ミーティングを行い、各自の役割を明確にする。

必要物品

物品名	数量	チェック	保管場所	準備者
聴診器	1		看護管理 合同研究室	構成員
ペンライト	2			
災害対策マニュアル	1			
事務用品一式	1			
2色ボールペン	5本			
マジック黒・赤	各1			
セロテープ	2			
ホッチキス・針	各2			
はさみ	2			
看板「看取り室」	1			
速乾性手指消毒剤	1			

7. 問い合わせへの対応

1) 問い合わせ窓口の設置

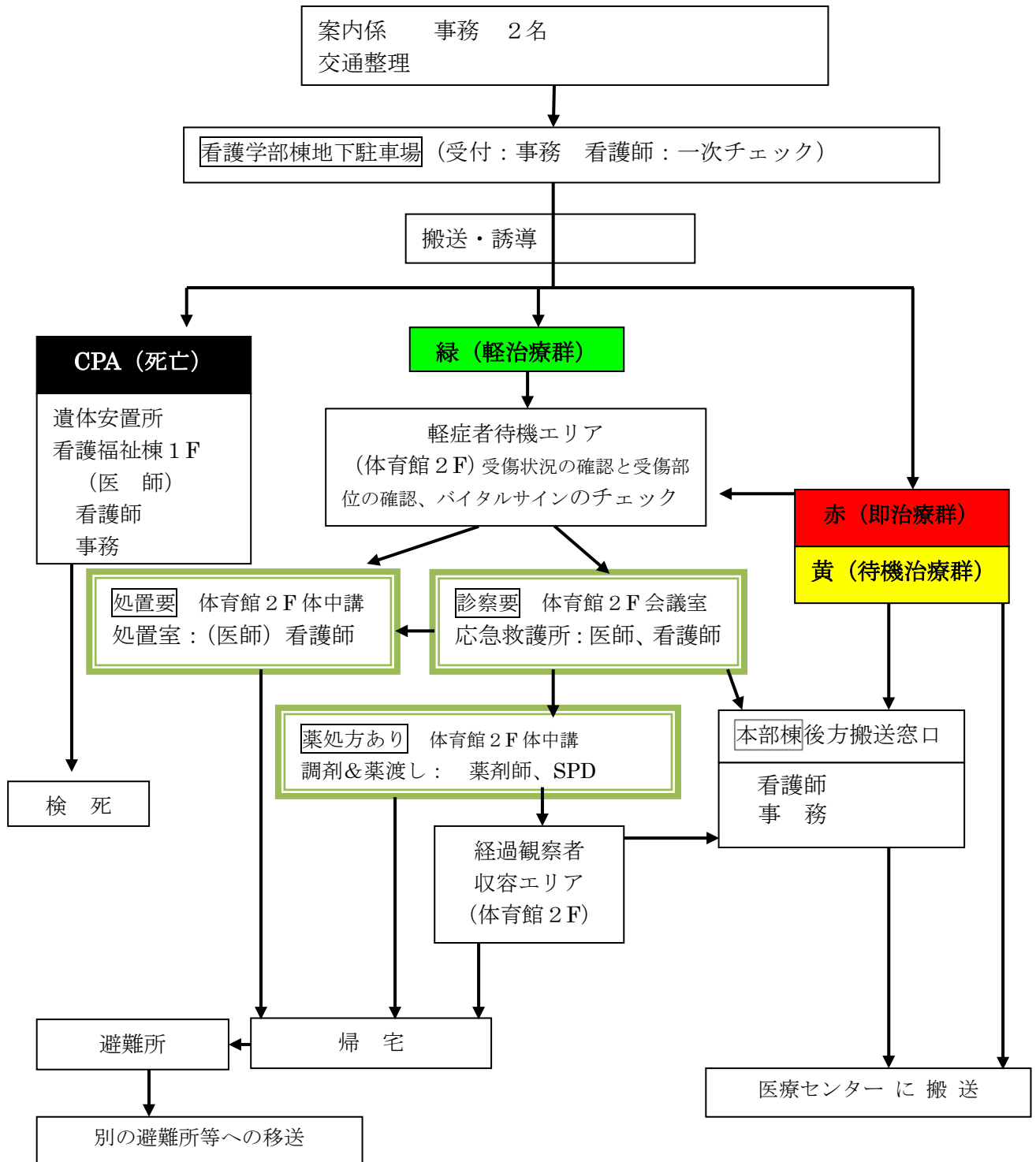
医療救護活動に支障をきたさないように、医療救護対象者の家族に対応する窓口を設置する。

2) 医療救護対象者の親族への対応

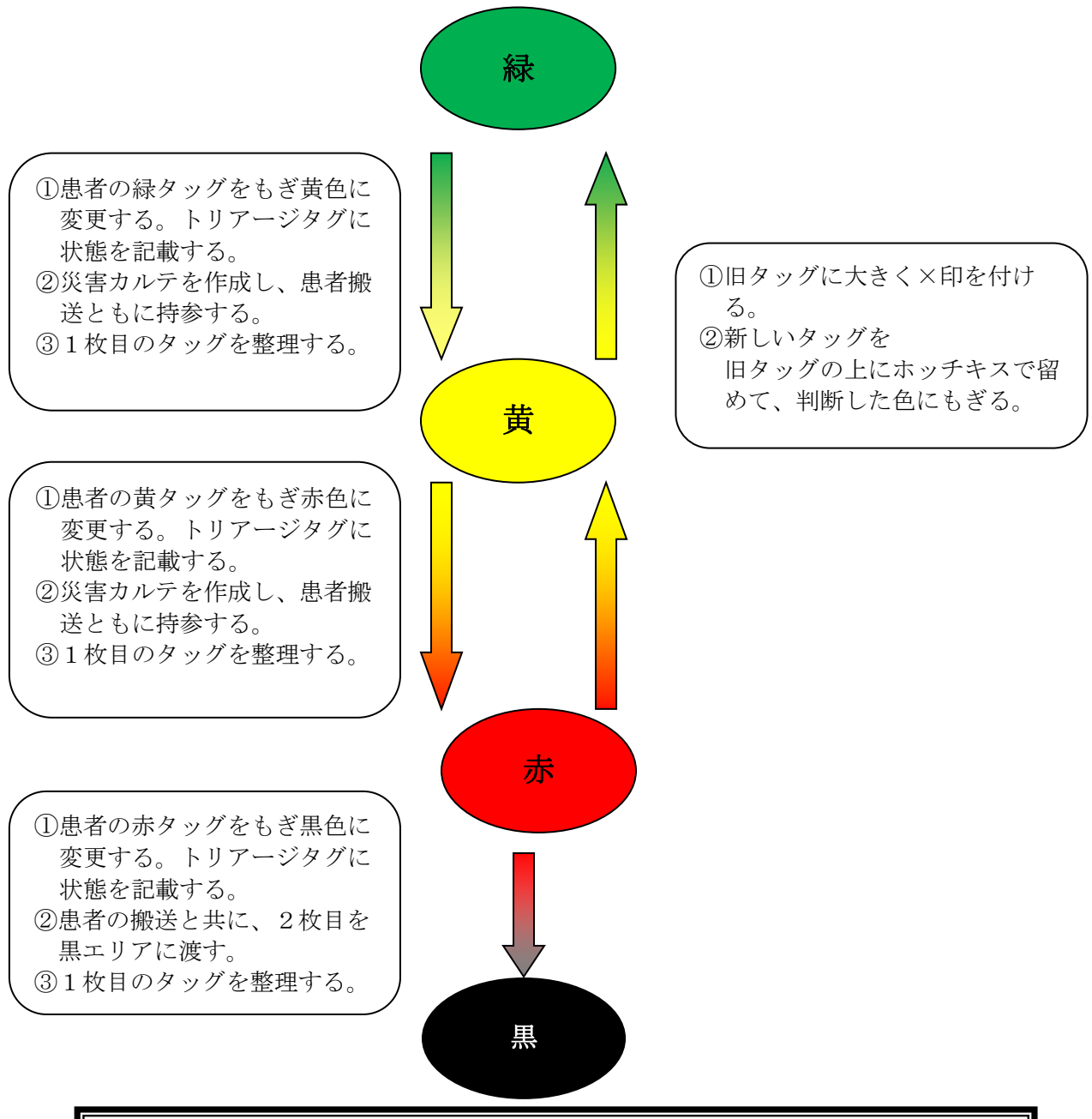
- ・問い合わせ窓口担当者は、収容している医療救護対象者に関する情報の照会に応じる。
- ・他の避難所や病院等に転送若しくは搬送した医療救護対象者のリストや遺体安置所に搬送した者のリストを掲示する。

8. 軽症者の受け入れのフロー図とトリアージタグおよび診療録

1) 軽症者の受け入れ・搬出の流れ



2) トリアージ区分変更とタグ



変更の原則：

- ・決定者は各エリア医師・看護師
- ・タグの1枚目は初回受付で保管。
- ・緑患者は災害カルテを使わない。
- ・トリアージ区分が変更になり、搬送が必要な状況があれば災害カルテを作成する。

3) トリアージタグ

・トリアージタグの記載

トリアージ実施前に実施補助者が記載すること

(多数の傷病者が殺到した場合は患者、家族に書かせても良い)

①タグ No.はあらかじめ「通し番号」をつけておく。【県大 001～】

②氏名＞性別＞電話番号＞年齢＞住所の優先順位で記載する。

不明の場合「氏名不詳」「推定○才」「○町○番地路上で収容」など具体的に記載する。

トリアージ実施者が記載すること

③トリアージ実施月日、時刻は分単位まで記載する。

④トリアージ実施者氏名をフルネームで

⑤診断内容は最も疑われる診断名やトリアージの根拠となる病態を記載

⑥トリアージ区分に○をつけると同時にトリアージ区分にあった色を残してもぎ取る。

注意) 再トリアージの際は①②について確認する。

・トリアージタグの運用

◇ 平常時よりトリアージタグを 1,000 枚準備し、体育館倉庫に保管する。

◇ 記載されたタグは救護所の受付で記載内容を確認し 1 枚目をはがす。

◇ はがした 1 枚目を受付のホワイトボードに貼り情報を共有する。

◇ 軽症者はトリアージタグでカルテの代用とする。

◇ 薬剤の受け渡しで、2 枚目を回収する。

◇ 1 枚目を基に受付で「被災患者名簿」を作成し、本部に報告する。

◇ 3 枚目 (台紙) は帰宅するまで、(もしくは避難所へ移動するまで) 患者に付け、帰宅するとき、もしくは避難所に入るときに回収する。

◇ 軽症者の 3 枚目 (厚紙) はカルテ代わりとなるので救護所で回収・保管する。

◇ 黒エリアでは 2 枚目は患者用死亡診断書、3 枚目 (厚紙) はカルテ代わりとする。

・トリアージ区分変更

◇ 再トリアージで緊急度 Up に区分変更するときはタグを区分にあった色にもぎ取り、1 枚目にも変更を記載する。

◇ 患者の緊急度 Up により、高知医療センターに搬送するときは災害カルテを作成する。

4) 診療録

(1)診療録は、共通様式 8 を使用する。

この様式は、災害時の診療録のあり方に関する合同委員会が作成したものを踏襲し、一部加筆したものであり、随時更新する。本様式は、A3 用紙に裏表に印刷し、使用する。

(2)診療録は、①経過観察者、②本エリア外での治療等が必要になった患者および③死亡患者に使用する。本エリア内で治療が完結する患者に対しては、診療内容をトリアージタグに記載し、診療録は原則的に使用しない。

(3)診療録は、患者に携帯させる。患者が本エリア外に移動するときは、コピーを本エリアに残す。コピーが難しい場合は、デジタルカメラで診療録を撮影する。

発災直後情報 (代行入力依頼書)

送 信 先	
発 信 元	医療機関名 担当
日 時	平成 年 月 日 時 分

1 医療機関機能情報(該当項目をチェック)

建物・医療施設の倒壊または、倒壊の恐れがある。	<input type="checkbox"/>
受け入れ人数の限界を超えている(キャパシティーオーバー)	<input type="checkbox"/>
ライフラインが使用不可能(医療行為が行えない)	<input type="checkbox"/>
その他(上記以外で患者の受け入れが困難な理由)	<input type="checkbox"/>

2 医療救護活動情報

活動中	<input type="checkbox"/>
活動不可能	<input type="checkbox"/>
備考	

※こうち医療ネットに入力できない場合は、この様式に記入し、県医療支部または県医療本部に報告してください。

(県医療支部または県医療本部で代行入力)

整理番号	第	号
受信者		

詳細情報 第 報

(代行入力依頼書)

送 信 先	
発 信 元	医療機関名 担当
日 時	平成 年 月 日 時 分

1 医療機関の機能(該当項目チェック)

手術が必要な患者の受け入れができない。	<input type="checkbox"/>
人工透析が必要な患者の受け入れができない。	<input type="checkbox"/>

2 受け入れている重症・中等症患者数

現在受け入れている患者の人数(累積ではない)を記入してください。

重症患者数(赤タグ)	人
中等症患者数(黄タグ)	人

3 患者転送情報

転送が必要な重症患者数	人
⇒ そのうち、広域医療搬送基準を満たした患者数	人
転送が必要な中等症患者数	人

4 ライフライン状況(該当項目チェック)

電気が使用できない	<input type="checkbox"/>
水道が使用できない	<input type="checkbox"/>
医療ガスが使用できない	<input type="checkbox"/>

アクセス状況等、特記する事項があれば記入してください。

※こうち医療ネットに入力できない場合は、この様式に記入し、県医療支部または県医療本部に報告してください。

(県医療支部または県医療本部で代行入力)

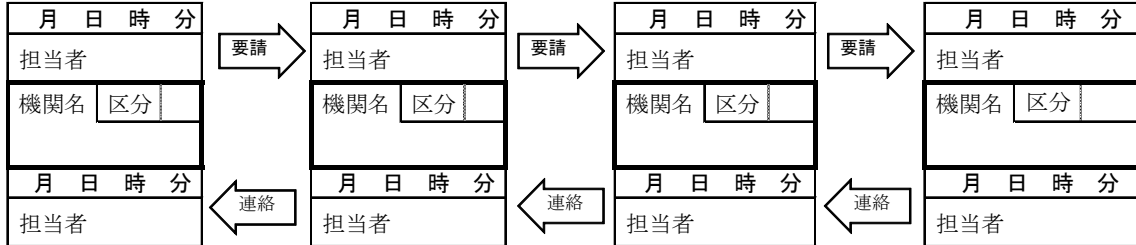
整理番号	第 号
受信者	

共通様式4

医療従事者等派遣要請書

■機関区分(区分の枠に番号を記入すること)

- ①救護所 ②救護病院 ③災害拠点病院 ④市町村本部 ⑤県医療支部 ⑥県医療本部 ⑦その他医療機関



参集場所

備考

必要人員						活動場所
医師	歯科医師	薬剤師	看護師	その他医療職	事務職員	

医療従事者等派遣応諾連絡書

市町村派遣人員						派遣場所
医師	歯科医師	薬剤師	看護師	その他医療職	事務職員	
派遣期間		移動手段		医療従事者所属機関		
月 日～	月 日					

県医療支部派遣人員						派遣場所
医師	歯科医師	薬剤師	看護師	その他医療職	事務職員	
派遣期間		移動手段		医療従事者所属機関		
月 日～	月 日					

県医療本部派遣人員						派遣場所
医師	歯科医師	薬剤師	看護師	その他医療職	事務職員	
派遣期間		移動手段		医療従事者所属機関		
月 日～	月 日					

付表（共通様式5）

患者詳細情報 (重症患者等受入要請書に添付)

送信先			
発信元	医療機関名	担当	電話
日時	平成	年	月 日 時 分

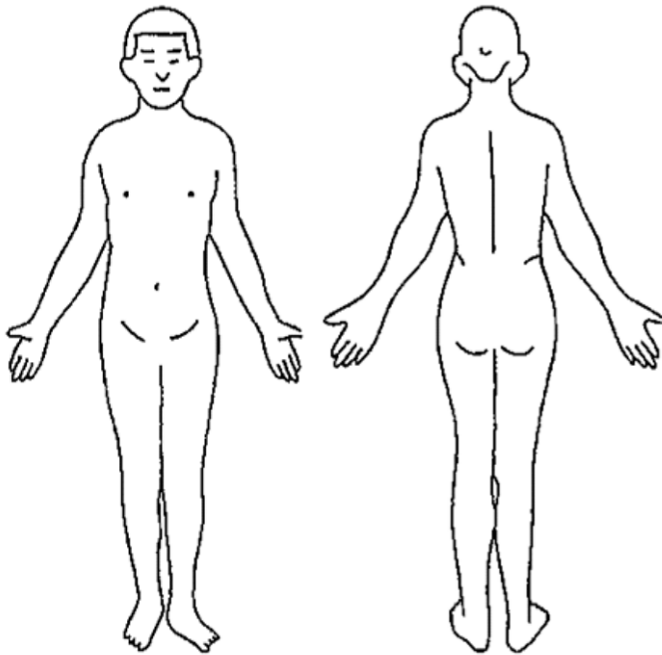
患者情報

Tag No	氏名	年齢	性別
住所	トリアージ 実施日・時刻 月 日 時 分		
トリアージ 結果	<input type="checkbox"/> 赤タグ(重症) - <input type="checkbox"/> 黄タグ(中等症)		
傷病名			

特記事項

(搬送・治療上特に留意すべき事項)

挫創 打撲 痛み 出血



- 体幹の鋭的損傷
- フレイルチェスト
- ニカ所以上の長管骨骨折
- 骨盤骨折
- 頭蓋骨骨折
- 四肢の轢断
- 15%以上の熱傷、気道熱傷
- 四肢の麻痺

医療従事者等派遣要請書

月 日 時 分	➔	月 日 時 分	要請内容	派遣希望 日数	月 日～	月 日	
高知県災害医療対策本部		機関・団体名		チーム数			
担当者		担当者		活動内容			
参集場所			備考				

医療従事者等派遣応諾書

高知県災害医療対策本部 あて
 FAX: 088-823-9137
 e-mail: 131301@ken.pref.kochi.lg.jp

(機関・団体名) _____ (担当者名) _____

(連絡先) Tel _____ Fax _____ e-mail _____

派遣協力可能期間	派遣チームの構成(分野・人数)	移動手段	食料・飲料水の準備	宿泊先確保(寝袋含む)
連絡先 _____ リーダー _____ 月 日～ 月 日			あり	あり
月 日～ 月 日			なし	なし
連絡先 _____ リーダー _____ 月 日～ 月 日			あり	あり
月 日～ 月 日			なし	なし
連絡先 _____ リーダー _____ 月 日～ 月 日			あり	あり
月 日～ 月 日			なし	なし
連絡先 _____ リーダー _____ 月 日～ 月 日			あり	あり
月 日～ 月 日			なし	なし

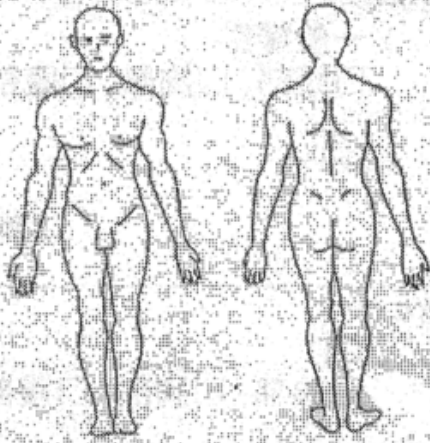
※派遣チームの構成については、医師○名、看護師○名、薬剤師○名、事務職○名など、派遣チームの職種内訳を記載。

その他連絡事項 _____

災害用カルテ

診療記録

年 月 日 時 分 受付

高知医療センター No.			採血 採尿 X線		
氏名				男・女	歳
住所					
TEL ()					
申告血液型				RH()	
受傷月日時刻				月	日 時 分
受傷場所				病名	
症	意識JCS			-	出血 + -
	呼吸			回/分 整・不整	脈拍 回/分 整・不整
状	血圧			/ mHg	SpO2 %
	病名記載欄				
重傷度	0	I	II	III	
医師名		来院方法		受診状況・経過(当日分)	医師名
トリアージ時刻		月 日	時 分		
患者移送先					
0 (黒)					
I (赤)					
II (黄)					
III (緑)					

